

通学路の安全確保のために「地域力」を高めましょう

## 夢のある作品で 明るい地下横断歩道に

交通量の多い飯倉片町交差点には、地下横断歩道があり、麻布小学校の通学路になっています。通学路の安全性を高めるために、麻布地区総合支所では、麻布小学校と協働で、壁面を利用して平成19年から麻布小学校4年生の絵を展示するようになりました。さまざまな人が親しみを持って、地下横断歩道を利用することにより、見守る目を増やし通路の安全性を高めます。また『小学校と地域の人々をつなぐコミュニティの場』として『多様な人々の連帯感』が強まり、地域力を高めます。

利用頻度も上がり、通行者の目も楽しませ、子どもを見守ることになります。

自分の「絵」が地域社会に展示されることは、小学4年生たちの良い思い出となるでしょう。

### 麻布小学校校長・鈴木義治先生のお話から

発想や感性の豊かさを大切にしています。また、想像力あふれ、楽しく描けるように指導しています。児童の生活域は広く、穏やかで明るい子どもたちです。外国籍の児童も珍しい地域ではありません。描いた絵が展示されることで、児童たちが地域社会に参加した経験となるでしょう。

都心にありますが、学校がこころの故郷となるように、「学校が故郷」として育つことを願っています。

壁面に飾られた作品は、どれも発想が豊かで明るくのびやかな印象にあふれています。

夢のある児童たちの作品です。ご覧いただき、親しみのある、明るい通学路として、地域の力を高めてゆきましょう。



幕がはずされ絵に見入る子どもたち

### 絵画展示の除幕式で

道路管理者である東京都第一建設事務所所長、麻布小学校校長、麻布小学校4年生、PTA関係者及び保護者のほか飯倉町会長、麻ノ葉町会長、地域の安全を守る麻布警察署などの方々が出席し、平成23年12月21日飯倉片町地下横断歩道で除幕式がおこなわれました。

壁面を覆っていた紅白の幕がはずされ、「絵」が現れた瞬間、児童たちは友人の作品や自分の作品を探し、見つけると歓声をあげていました。

### 展示された「絵」は

地下横断歩道の左右の壁に、毎年4年生全員の作品を2年間飾ります。左右の壁は、毎年交互に新しい4年生の作品に付け替えられます。2年間飾られた「絵」は6年生になって、卒業するときに『樹脂製のプレート版』に印刷されてプレゼントされます。

児童の作品である「絵」を展示することにより、近隣の人々、会社・事務所の人々などに、親しみのある地下道として



明るくなった地下横断歩道



(取材・文/浅川一枝)



「住む家族と共に家も成長していく。つくった家は自分の子どももみたくです」と語る建築家 松野勉さん

世の中にはいろいろな仕事があります  
**建築家**

子どもに生きていく力を

## KIDS! ハローワーク

親子で読んでみよう



(上) 実物の設計図面を見せていただき説明を受けました。  
(下) 大学などで建築の授業も受け持っている松野さん。中学生にも熱くレクチャーしてくださいました。

きっかけは、「絵が得意」だったこと

今回のテーマは建築家のお仕事です。港区立高陵中学校1年生2名が東麻布で一級建築士事務所を営む松野勉さんを訪ね、お話をうかがいました。

### ◎ どんなお仕事ですか？

お客様の要望を聞いて建築物を設計し、図面を書きます。お客様とはだいたい月に1、2回話し合いを行い、時間をかけて相談し、半年から1年かけて設計を進めます。図面は最初フリーハンドでイメージを描き、少しずつ細かいところを入れていきます。最終的には材料として使用する木材の種類などまで書き込んで完成させます。

### ◎ 建築家になろうとした動機は？

小中学生の頃から絵を描くことや図工が得意だったので、それを生かせる仕事をしたいと思いました。最初は絵描きになろうとも思いましたが、人や社会のためになるしくみがわかりやすかったので建築家になろうと思い、大学受験の際に建築を専攻することにしました。

### ◎ 仕事をしていてうれしかったことは？

一つ目は、設計した建築物が完成した段階でお客様に喜んでもらったときです。二つ目は、自分が設計した家に何年か住んだ後にお客様から自宅のパーベキューパーティーなどに呼ばれ、住み心地最高だよ、と言われたり、お客様のお子さんが大きく成長した姿を見たりするときです。一つ目の喜びが60点くらいだとすると、二つ目は98点くらい嬉しいです。

### ◎ 苦労したことはありますか？

仕事自体は楽しんでやっているのであまり辛いことはないです。一 가족が仕事を依頼してくるとき、家族一人ひとりの要望があって、意見が一致しないときが苦労します。でも、意見が一致したときは、良かったと一安心します。



たくさんアイデアが書き込まれた設計図面と建築模型

### ◎ どんな人が建築家に向いていますか？

「ひと」と「もの」に興味があって、両方とも好きな人に向いていると思います。さらにクリエイティブな仕事なので、絵を描くのが好きな人が向いています。

### ◎ 建築家になろうと思う人へのメッセージを。

日本は、人口に対して住宅は足りています。なので、たくさん造る必要はありません。数ではなく、「おもしろい」「楽しい」と思ってもらえるような住宅をつくってください。

### ◎ インタビューをした感想

今回の取材を通して、建築家という仕事の奥深さを感じました。そして、専門的で難しい職業だと思いました。インタビューで聞かせていただいたお話の内容は、すごく為になるお話ばかりで勉強になりました。この経験をこれからの学校生活や、進路選択に生かせるらいいなと思いました。

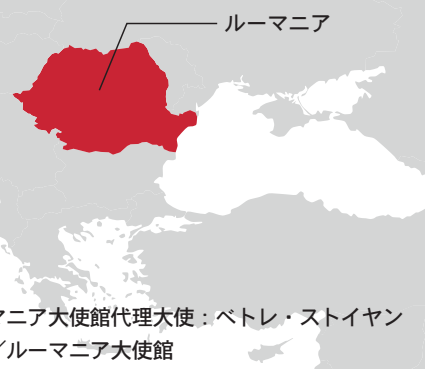


松野さんが設計した自宅兼事務所の吹き抜け中庭空間



ルーマニア

面積： 約23.8万平方キロメートル（本州とほぼ同じ）  
 人口： 約2,146万人（2010年）  
 首都： ブカレスト（人口約194万人）  
 民族： ルーマニア人（89.5%）、ハンガリー人（6.6%）など  
 言語： ルーマニア語（公用語）、ハンガリー語  
 宗教： ルーマニア正教（87%）、カトリック（5%）  
 政体： 共和制  
 元首： トライアン・バセスク大統領  
 議会： 二院制（上院137議席、下院333議席）  
 外務省ホームページ  
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/romania/>より



駐日ルーマニア大使館代理大使：ペトレ・ストイアン  
 取材協力/ルーマニア大使館

大使を訪ねて 18  
 麻布の"世界"から



# Romania



1 ルーマニアのほぼ中央に位置するブラショフの街  
 2 大使館前のプレート  
 3 ルーマニアの国章  
 4 麻布には1979年から大使館・官邸・宿舍がある

## 自然体で陽気な国民性、ルーマニア

西麻布3丁目の富士見坂にある石垣にはめ込まれた「ルーマニア大使館」のプレートを通り過ぎて階段を登ると大使館に入る。そこでペトレ・ストイアン駐日ルーマニア大使館代理大使が握手で迎えてくださった。大学時代バスケットボールの選手だった大使はがっちりした外見だが、優しい目のフレンドリーな方で、話しぶりは非常に穏やかで温和だ。次の大使が派遣されるまでを務める代理大使だが、日本は初めてではない。1997年から通算3回目の駐在だ。筑波大学に留学されていた期間を含めると、日本滞在は10年以上になる。

ルーマニアと日本の文化的違いそして相違点について伺うと、それは「とても深い質問だ」とおっしゃった。例えば、両国民ともすばらしいもてなしの心を持っているが、その表現の仕方は異なる。ルーマニア人は自然体で陽気だが、日本人は規律を重んじ礼儀正しい。何か分からないことがあると日本人は「上司に確認します」と言うが、ルーマニア人はその場で何とか答えようとする。大使はどちらも立派だとおっしゃる。日本人は間違いを犯したり誤解を生まないように努め、ルーマニア人は人を喜ばせようと努力するのだ。

興味深いのは、ルーマニアで10-20年ほど前から日本語教育が盛んになり、今では2000人ももの大学生が日本語を学んでいることだ。大学生は文学、古典芸術、禅などの精神的要素に興味を持って学習している。一方子どもたちは、マンガやアニメを通じて日本語に慣れ親しみ、大好きなテレビキャラクターを字幕なしで楽しむ。日本に対する興味は高いが、今は

直行便がない上、日本に来るには相当なお金がかかるので、ルーマニアからの観光客は多いとは言えない。日本からルーマニアを訪れる観光客も他のヨーロッパの国に比べると少ないので、是非増やしていきたいと大使は意欲を語られた。

麻布には1979年から大使館と官邸・宿舍があるが、閑静な住宅街にありながら中央官庁に近いことや様々な利便性に富んでいることに満足されている。大使館の活動について伺うと、日本とルーマニアの友好を深めることを目的として発足された日本ルーマニア音楽協会をサポートしているという。2005年より毎夏東京で開催されているルーマニア国際音楽コンクールの最優秀受賞者をルーマニアの音楽祭に招き、海外CDデビューのチャンスを与えているのだそうだ。また昨年8月には、高輪区民センターで「ルーマニアってどんな国？」と題して、写真家みやこうせい氏の作品をメインに、ルーマニア北西部の美しい風景を紹介した。

約1時間のインタビューはあっという間に時間が過ぎてしまった。知っているようで実はよく知らないルーマニア。これを機にもっと調べてみたい気持ちになった。

(取材/永井メイ、山下良蔵、折戸桂子、伊藤志織、加藤智恵 文/永井メイ、加藤智恵)



## Living in AZABU

あッ、ロボット公園だ!!

正式の名前はさくら坂公園。  
 六本木6-16-46番地。  
 平成15年4月1日開園。  
 ヒルズ建設の一環として。  
 作られた後に港区の公園になった。  
 ——と、役所の人に教えて頂いた。

プラスチックのロボット君達のトーテムポールと  
 “乃木將軍生誕の地の石碑”  
 昭和7年 東京市長 永田秀次郎 建立と刻まれている。

いつもかわいい子どもたちのお声でいっぱい!!  
 すべり台や何やらの遊具も充実!!

楽しい なごみの公園だ。  
 うれしいですね。

(イラストレーション・文/湊 早苗)



岩淵にて ペリー筆

米国大使館所蔵

日本の開国にかかわったペリー提督の兄の孫のトーマス・サージェント・ペリー(Thomas Sergeant Perry 1845-1928)、妻で印象派の女性画家、リラ・キャボット・ペリー(Lilla Cabot Perry 1848-1933)と3人の子どもたちがアメリカ ボストンから明治31年(1898)に来日し、元麻布に住んでいた。

### 慶應義塾教授 トーマス・ペリー

来日前のトーマス・ペリーはすでにハーバード大学を卒業し、ヨーロッパ留学を終え、母校の講師をした後にボストンで文芸評論家として活躍していた。ペリーは後に「本の人として生まれ、本の人として生き、…」と言われるほど「本の虫」で、「18世紀文学」、「ギリシャ文学史」などの十数冊に及ぶ本を書いている。

明治31年慶應義塾の福澤諭吉は、ハーバード大学学長C・W・エリオットに書簡を送り、慶應義塾大学部の英文学主任教師(教授の意)の紹介を依頼している。教授との契約内容は、I 期間は東京到着から3年、II 科目は英文学および英語と文法、III 講義は週20時間、IV 年俸は1年目3,000円、2年目3,300円、3年目3,600円、V 片道500円、往復交通費の支給、ただし3年未満は復路なし、VI 3年以降別契約、VII 本年5月1日までに到着されたし、となっていた。

学長の紹介でペリーは日本行きを決めた。その背景として妻リラが絵を描くために滞在したフランスの生活を通して、ペリーは日本の浮世絵や日本画の表現ばかりでなく、印象派の絵画に影響を与えたその素晴らしい芸術的素朴さを知っていて、また大叔父と日本の関係を知っていたからであろう。ペリーは単身5月3日に到着した。

福澤はペリー教授就任に喜び、同年5月9日付で書簡を政治家 大隈重信に送り、鎌田栄吉新慶應義塾長就任披露とペリー教授紹介の園遊会を5月16日に広尾の福澤別邸(現慶應義塾幼稚舎)で開く旨の招待状を送り、そこに「ペリ氏は有名なるコモドル・ペルリの従孫にて、我国には深き因縁も有…」(ママ)と追記している。

この園遊会に伊藤博文、井上馨、西郷従道などの政界の重鎮を呼び、三百数十名になったという。会場に「Welcome Mr.Perry」の英語と日本語の横幕があり、正式の挨拶があり、花火が上がり、剣舞、日本舞踊があり、まるで安政元年(1854)のコモドル・ペリーに出された様な食事であったとペリーの伝記に書かれている。

明治19年(1886)に、浮世絵に興味を持った画家、トーマス・ペリーの義兄ジョン・ラファージ(1835-1910)が来日している。その時、岡倉天心(1863-1913)がお世話をした。天心とラファージは意気投合し、アメリカの巨匠画家と呼ぶほどの友情を相互に結び、後に天心の書いた「茶の本」を、ラファージが日本体験を描いた「画家東遊記」をお互いに献呈し合っている。

明治31年、岡倉天心は東京美術学校(現東京藝術大学)校長を辞職、そして日本美術院を創設する。同年7月にその日本美術院の披露宴が芝紅葉館(現東京タワー)であり、画家の横山大観を始め美術や文学にかかわる人々百余名を招待した。天心は日本到着が遅れた妻リラの代わりにペリーをその席に招待し、同美術院の名誉賛助会員とし、また、谷中の自宅に招き、格別の懐石料理をご馳走したという。

宴会も、また少人数の食事会についてもペリーは親切にしてくれる人々に失礼にならない様にしたが、あぐらをかき、お箸を使う食事に西洋の食事との違いを感じていたようである。

### 印象派女性画家 リラ・ペリー

明治7年(1874)トーマス・ペリーが29才、リラ26才で結婚し、三人の娘を授かった。リラは詩を書き、36才から絵を描き始めた。その背景に19世紀末、金融、経済、教育や宗教などに力を持つボストンのプロテスタント系(キリスト教の新教徒)のエリートたちの中で、新しい考え方の影響を受けて芸術は社会基盤の要素として大切な意義があると認める文化が醸成されてきたことにある。そのエリートのキャボット家で育ったリラは、ボストンで絵を習い、パリの美術学校で学び、モネと交流をしながら画家になっていった。明治20年(1887)以降ペリー一家はフランスに行き来しリラはパリの展覧会でモネの芸術理念に衝撃を受け、パリ近くのジヴェルニーのモネのアトリエ近くに滞在した。モネの妻アリスとも親しくなった。明治42年(1909)までに長期滞在を含め9回にわたり夏を過ごした。リラは、画家モネに共感して油絵やパステル画を描き、かつモネの支持者になって作品を買い、さらにボストンのリラの弟や友人たちにも印象派の絵を紹介したようである。

トーマス・ペリー 53才、リラ 50才と三人の娘の一家で赴任した。東京の住所は長女のマーガレットの手紙に「44、Sakuradamachi Azabu Tokyo」と書かれ、今の元麻布三丁目4番であろう。リラは日光、富士山を描くために御殿場、鎌倉、軽井沢などを訪ね、写生を通して日本の生活に親しみ、また本所四ツ目の牡丹、亀戸天神の藤、堀切の菖蒲などを見に行き、さらに肖像画が得意であったリラは身の回りにいたツネさんを描くなど数多く絵を残している。

麻布のペリー一家の生活は、時に自宅の1階を音楽室に変え、ケーキやパンを買い集め、サンドウィッチを作らせ、オーストリア、フランス、イギリスなどの公使館の人々やその家族たちを招待し、音楽会を開いて楽しんでおり、ペリー一家の三姉妹がピアノとバイオリンとチェロを弾いている「トリオ」というリラの絵が残っている。(下の絵:麻布の家、日本間での音楽会)

昭和7年(1932)に知日派として有名なジョセフ・C・グラー駐日米国大使夫人としてペリー一家の三女のアリスは、再来日している。

明治34年(1901)にペリー一家はボストンに帰国し、リラは生涯印象派の絵を描き続けた。ペリー一家は、ペリー提督の時から日本とアメリカの懸け橋になっている。



『トリオ』ハーバード美術館/フogg美術館所蔵

Image Number: 80677 Accession Number: 1952.117  
Artist: Lilla Cabot Perry "The Trio, Tokyo, Japan" Date: 1898-1901  
Oil on canvas  
Dimensions: 75.6 x 100 cm (29 3/4 x 39 3/8 in.) framed: 88 x 113.4 x 5.1 cm (34 5/8 x 44 5/8 x 2 in.)  
Credit Line: Harvard Art Museums/Fogg Museum, Friends of the Fogg Art Museum Fund, 1952.117  
Copyright: Photo: Imaging Department © President and Fellows of Harvard College

# 明治時代のペリー一家物語

## 麻布の軌跡



当時の麻布櫻田町44番地に住んでいた。

港区郷土資料館編  
増補 港区近代沿革図集 麻布・六本木 所収  
東京郵便電信局「東京市麻布区全図」から編成  
(明治29年[1896])



帰国後のペリーのボストンの家

写真:大野順子Rothwell

#### 参考文献

武藤脩二著 世界転換期のアメリカ文学と文化 中央大学出版部  
慶應義塾編 慶應義塾百年史 別巻(大学編) 慶應義塾  
慶應義塾編 福澤諭吉書簡集第9巻 岩波書店  
慶應義塾史事典委員会編 慶應義塾事典 慶應義塾大学出版  
Virginia Harlow Thomas Sergeant Perry Duke University Press  
桑原住雄著 ラファージと日本美術 画家東遊記所収 中央公論美術出版  
岡倉天心著 絵画における近代の問題 岡倉天心全集第2巻所収 平凡社  
岡倉一雄著 父岡倉天心 中央公論  
日本美術院百年史編集委員会編 日本美術院百年史 2巻下(資料編)(財)日本美術院  
大野順子ロスウェル著 「リラ・キャボット・ペリー(Lilla Cabot Perry 1848-1933) 明治の日本を描いた印象派の画家」  
junkoonorothwell.com/LillaPerry.pdf  
キャサリン・ブルギニオン著 印象派の村ジヴェルニー、芸術家のコロニー  
キャサリン・ブルギニオン・木島俊介監修  
図録 モネとジルヴェニーの画家たち所収 西日本新聞

名古屋ボストン美術館編 ボストンに愛された印象派展 図録 名古屋ボストン美術館  
船山喜久彌著 白頭鷲と桜の木 垂紀書房  
松川裕子著 世界転換期のリラ・キャボット・ペリーとドメスティック・スペースとしての日本 アメリカ研究44 アメリカ学会

#### 取材協力

米国大使館レファレンス資料室  
在米画家 大野順子ロスウェル氏  
慶應義塾大学 美山良夫教授  
東洋英和女学院大学 バトリシア・スイッベル教授  
ハーバード美術館

皆様に資料の提供、アドバイス、インタビューなどでご教授頂きましたことに深く感謝申し上げます。

(取材/森 明、伊藤志織 文/森 明)

※前号麻布の軌跡「南葵楽堂」文中、南葵楽堂の落成開堂式があったのは、大正7年(1918)10月でした。お詫びして訂正します。

## 六本木暫定自転車駐車が平成24年3月に 順次オープンします！ あわせて放置禁止区域を指定します

六本木暫定自転車駐車が平成24年3月に順次オープンします。ぜひ活用ください。

なお、自転車駐車の開設に伴い自転車放置禁止区域を指定します。放置禁止区域内に放置されている自転車は即時撤去の対象になります。

六本木暫定自転車駐車の内容

名称	収容台数	利用方法	利用料金	利用時間
第1暫定自転車駐車場	約90台 (自転車のみ)	定期利用のみ※	一般： 1,800円/月 学生： 1,300円/月	午前4時45分 から翌日午前 1時15分
第2暫定自転車駐車場	約200台 (自転車のみ)	時間利用のみ	最初の2時間 無料、以降8 時間毎100円	24時間
第3暫定自転車駐車場	約50台 (自転車のみ)	時間利用のみ	最初の2時間 無料、以降6 時間毎100円	24時間

※定期利用について(要事前申し込み)

申し込み先: サイカパーキング(株) 電話3667-4978(日曜・祝日を除く午前9時～午後5時)  
サイカパーキング(株)のホームページからもお申し込みいただけます。  
<http://www.cyca.co.jp>

自転車は、手軽で安全な乗り物ですが、歩道に放置されていると歩行者の安全な通行の障害となり、けがや事故につながる危険性があります。また、災害時には避難・救助活動の妨げにもなります。

六本木地域の放置自転車をなくし、安全安心で快適な歩行環境をつくるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。



お問い合わせ/麻布地区総合支所協働推進課協働推進係  
電話/03-5114-8802

## 港区麻布地区 総合支所だより

### 麻布消防署からの お知らせ

#### 地震から身を守る

地震から身を守るためには、日頃の備えに加えて地震が発生した時の行動が大切です。

揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたりした時は、身の安全を最優先に行動しましょう。

丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せて、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。

#### 高層階(概ね10階以上)での注意点

高層階では、揺れが数分続くことがあります。また、大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がありますので、家具類の転倒・落下・移動防止対策をしましょう。



お問い合わせ/麻布消防署防火管理係  
電話/03-3470-0119

### 総合支所からの お知らせ

#### 「ボランティア養成講座」を開催します ～地域ボランティアを体験してみませんか～

地域の高齢者の皆さんの交流会(サロン事業)のお手伝い等をしていただく方を募集します。養成講座終了後は、麻布地区のサロン事業「ちょこっと立ち寄りカフェ」にボランティアとして参加していただけます。

多くの方のご参加をお待ちしています。

#### 平成24年度港区民交通傷害保険加入の申し込みは3月30日(金)までです

金融機関での申し込みは終了しています。3月30日(金)まで総合支所で受け付けていますので、希望する人は、早めにお申し込み

- 対象** どなたでも参加できます
- と き** 第1回 4月19日(木)  
第2回 5月9日(水)  
第3回 5月17日(木)  
※時間は各回とも、午後1時～5時
- と ころ** 麻布区民センター(六本木5-16-45 麻布地区総合支所2階)
- 申し込み** 電話で、麻布地区総合支所区民課保健福祉係へ。

お問い合わせ/  
麻布地区総合支所区民課保健福祉係  
電話/03-5114-8822

みください。  
※パンフレット・申込書は、各地区総合支所協働推進課にあります。

お問い合わせ/  
麻布地区総合支所協働推進課協働推進係  
電話/03-5114-8802

### 麻布警察署からの お知らせ

#### 振り込め詐欺にあわないで!



振り込め詐欺にあわないために、以下の項目に注意しましょう。

- 息子や孫を騙り、「かぜをひいた」「携帯電話の番号が変わった」と電話があったら、必ず元の電話にかけなおす。

- 在宅していても留守番電話に設定し、一旦留守番電話で対応する。
- 警察官や金融庁、区の職員などが、キャッシュカードや現金を預かりに行くことは絶対にないことを認識しておく。
- 不審な電話があれば、すぐ警察に通報する。

『振り込まない、手渡さないで110番』

お問い合わせ/麻布警察署  
電話/03-3479-0110

## AZABU

●配布設置場所のご案内  
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書サービスセンター、南麻布・本村・麻布・西麻布・飯倉の各いきいきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Chief 尾崎恭彦  
Sub Chief 石山恒子  
Staff 浅川一枝  
伊藤志織  
伊東みゆき  
大澤佳枝  
大村公美子  
折戸桂子  
Junior Staff 石山 茜  
鈴木美砂

加藤智恵 西野さつき 森 明  
倉石哲良 野口絢司 森角香奈子  
鈴木敏江 福本綾子 山下良蔵  
高柳由紀子 松野暢子  
満木葉子 湊 早苗  
永井メイ 新倉光城 鈴木大智  
大村 響 鈴木滝也

### 編集後記

麻布地区総合支所から麻布十番方面へ向かうと、「鳥居坂」という急坂がある。麻布地域は坂が多いことで知られるが、坂の名称をひも解いていくと、これがなかなか面白い。鳥居坂と命名された由来については諸説ある。宮村町にあった麻布氷川神社の「二の鳥居」がこの地であったとする説。他に鳥居丹波守の屋敷があったためとする説もある。このあたり一帯は江戸時代初期から武家屋敷町。明治に入り大邸宅地になった。いまでも高級邸宅が建ち並ぶ坂道を歩きながら、遠く江戸のことをあれこれ想像するのも楽しいものだ。(尾崎 恭彦)

### 「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。  
年中無休/午前7:00～午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752  
Eメール/info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service  
Minato call is a new city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.  
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp